

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援lapoale健軍		
○保護者評価実施期間	2026年1月14日		～ 2026年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56名	(回答者数) 44名
○従業者評価実施期間	2026年1月14日		～ 2026年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小集団であることで、一人一人の利用者と十分に関わることができ、信頼関係や安心感を築きやすい。 ・専門職が多数在籍していることで、様々な分野の専門家がそれぞれの目線でアプローチし、一人一人の発達段階に沿ったプログラムや支援が提供できる。	定員10名に対して午前(4～5名)・午後(5～6名)2クールで分けて小集団にて療育を行なっている。活動を行う際はその日のリーダーが主体となつて活動内容やプログラムを作成している。また、毎日終礼の時にその日の振り返りを行い利用者一人一人にあった活動内容や支援ができるよう話し合いをし、次の活動に反映できるようにしている。	利用者一人一人丁寧に向き合い、興味関心を引き出し課題に合わせながら遊びを通して楽しむ活動を行なっているよう考案し、また一人一人の特性にあったより良い支援ができるよう専門性を高めている。
2	課外活動があり、公園遊びやお買い物活動、図書館へお出かけしたりと楽しく遊びながら運動機能を高めたり、ルールを守ることや協調性・コミュニケーション能力を育む支援が提供できる。	活動を決定する際に偏りが出ないようにするため、週に1回は課外活動を取り入れ、その中で公園や図書館など公共の施設の使い方や交通ルールなども一緒に学んでもらえるよう内容を考案している。	事前学習と事後の振り返りを取り入れ、活動の目的や約束を明確にしたり、役割分担やミッション形式を導入し子どもたちの主体性を育てていきたいと考えている。地域との交流や保護者への活動報告を通して学びの定着を図り、社会性や自立心の向上につなげていけるよう取り組んでいる。
3	同じ建物内に児童発達支援・放課後等デイサービス・高齢者リハビリセンターがあり、様々な年齢層の方との関わる機会がある。	・サマーマルシェやクリスマス会といった季節のイベントを合同で開催することで、子どもたちが様々な年齢層の方々と触れ合う、貴重で楽しい機会を創出しています。 ・普段の生活の中でも挨拶を交わすことで笑顔が広がり、世代を超えた温かい交流が自然と生まれています。	・今後はアンケート等を通じて保護者様・お子様のご意見を積極的に伺い、イベント企画に反映させていく。 ・マルシェなどのイベントを通じて、地域住民の方々を積極的に招待し、地域との交流機会を広げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	階段の手すり部分や事業所の窓(事業所が2階にある為)部分について柵を新たに設置したが、まだまだ安全管理が必要だと考える。 また、社用車が少ないため、送迎範囲が狭まってきている。	階段の手すりに関して、スタッフ間での安全管理(階段の上り下りや周辺に行くときはスタッフが一緒に行動)はしているが階段1段が高いため、転倒のリスクは高いと考える。	階段の手すり部分に間に柵を新たに設置、窓については柵を設置し、転倒防止対策と子どもたちの階段の登り降りの際はスタッフが離れないよう安全管理に努めていく。
2	家族交流や地域との連携が弱い	マルシェなど開催し、参加呼びかけしているがそれが家族交流の場となっているか分かりにくい。また、地域との連携についても、利用者が通われている園への関係機関で見学に行くことはあるが実際の支援での反映されているか不明。	今後はマルシェの定期開催や親子療育等を年に数回など企画して保護者支援や保護者同士が交流を図れるような場の提供を検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援Lapoale健軍					公表日	2026年 3月 10日		
						利用児童数	56名	回収数	44名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	42	1	0	1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	40	1	0	3			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	4	0	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	42	0	0	2			
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	41	0	1	2		お子様の成長点・課題点をピックアップし更なるステップアップへ向けて支援を行って参ります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	0	0	7		まずは事業所が公表している支援プログラムがホームページにて掲載しております。その内容と日々の連絡帳の内容の確認をお願いいたします。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	42	1	0	1			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	41	0	0	3			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	42	1	0	1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	39	0	0	5			
11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20	4	4	15		保育所や認定子ども園等との交流や地域の人と関われる機会・環境作りを目指していきたいと思います。マルシェの開催の際には地域の人々にも呼びかけを行っていききたいと思います。		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	44	0	0	0			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43	0	1	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	2	6	14		親子療育の開催の企画やその際にご家族も参加できるようなイベントを企画していきたいと思います。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	42	1	0	1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38	2	0	4			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	1	0	1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	3	4	15		実績は少ないですが、今後、親子療育などを企画し実施していきたいと思っています。その際にきょうだい向けのイベントも企画して行きたいと思っています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	38	2	0	4		ご相談があった際には、お話しをお聞きたい旨を伝え、事業所内やお電話、LINEを通してお話をしております。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42	1	0	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	40	1	0	3		定期的にSNS等で活動の様子等は発信している。今後は自己評価掲載のお知らせも発信していく予定です。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	2	0	0				
非常時 等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	2	1	12		契約の際に各委員会を設置し、研修の中でマニュアルの読み合わせや訓練等を行っております。また、避難訓練の際は保護者に災害を想定したLINEなどもお送りしております。今後ご協力をお願いいたします。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	0	1	16		避難訓練の際は保護者に災害を想定したLINEなどもお送りしております。今後ご協力をお願いいたします。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	2	0	2			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	39	1	0	4			
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	43	0	1	0			
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	40	4	0	0	月1程度しか利用してないため、少し緊張しながら行っていますが、行ったら楽しんでいると感じます。	今後も子どもたちが安心・安全、楽しんで通っていただけるよう活動を考案していきたいと思えます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	43	1	0	0			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援Lapole健康		公表日	2026年 3月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすい構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	スタッフ1人トイレの見守りに配置しているが、単なる見守りだけでなく、トイレの使用方法やトイレでの困り感をすぐさま拾うことができ、その部分の対応なども一緒に考えることができる。	トイレの場所が訓練室からして死角になりやすい所にあり、スタッフが必ず1人付いていないと危険な環境
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	ラポール使用を優先になっているため、使用する際は予定入力と連絡板にて周知すると使用できるようになっている。	使用したい際に昼食を取られていたり、他の方が使われていたりすることがあり、急遽の使用が難しい場合がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	計画書など作成の時に個別支援会議を行っていき事を徹底し、また、完成した際は回覧を行っていく。	口頭での振り返りや目標の周知になっており全ての過程の記録がなされていない為、目標に対する結果や現状が少し分かりづらい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		分からない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	今後、夕方の時間が空いた時に定期的な勉強会を行っていく。	確保されているとは感じるが、機会は少し少なく感じる以前より機会は減っている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		全員が毎日開く振り返りシートに目標を記載しているが、内容の留意点などの共有や周知までは行うことが出来ていないと感じる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	活動を考えるスタッフが毎回異なることで、それぞれの個性が出た活動になっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	親子療育を定期的に開催していきたい。	保護者も参加型の親子療育を実施していきたい	
関係機関や保護者との連携	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	初回の担当者会議や契約の際に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	4	保護者から相談があった際は、お話し聞きたい旨を伝えて事業所内やお電話、LINEを通してお話をしている。	保護者交流の場を設ける予定がある まだ実績は少ない
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	個人携帯での撮影を行わないよう徹底し、事業所携帯やタブレットにて撮影をしていく。	自身も含め、写真などが個人の携帯に残っていることが多くある。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		